

Genius4年生 家庭学習レポート(第44~47回)

国語

名前 _____

取り組んだ日付を記入しよう。取り組めなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付	
① 漢字練習プリント冬休み号・33~35 を少しずつ進めていくこと。冬期講習明けの国語授業で33の漢字テストを行います。		
② 知識プリント「反対語2」を少しずつ進めていくこと(第6回G模試範囲になります)。		
③ 宿題その一 [知らなかった言葉がでてきたら、意味までふくめて覚えましょう。]	44回	45回
	46回	47回
④ 宿題その二 [空欄の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。]	44回	45回
	46回	47回
⑤ 宿題その三 [解答の手がかりや問題の条件等に線を引いて解きましょう。]	44回	45回
	46回	47回
⑥ 宿題その四 [() の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。]	44回	45回
	46回	47回
⑦ 授業でメモしきれなかった部分を、後から思い出して追記しておく。	44回	45回
	46回	47回
⑧ 家庭用学習用教材 [解答の手がかりや問題の条件等に線を引いて解きましょう。]		

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの	日付	
① 授業で解いた設問の復習 [記号選択] (授業中のメモを見てどうしてその答えになるのか確認しましょう。特に、正しくない選択肢は「どの部分が正しくないのか」まで確認できるとよいでしょう。) [抜き出し] (文章中のどの部分が解答であったのか再度確認しましょう。) [記述] (×または空欄だった問題はメモを見ながらでよいのもう一度自分の力で書いてみましょう。次の国語授業時に提出があれば添削して返却します。)	44回	45回
	46回	47回

担当からの連絡

冬期講習では、文法事項として、文節、主語・述語を扱います。主語・述語を見抜けるようになると、長い文の要点をつかみやすくなるので、少しずつ慣れていきましょう。

物語文の読解では、登場人物や場面を把握しながら読み進めることが大切です。本文に適宜書き込みを入れたり、人物関係を整理するメモを取っておいたりすることで状況を説明させる記述問題にも対応しやすくなります。

冬期講習で扱う文章はいずれも同年代の主人公なので感情移入しやすいかもしれませんが、しかし、心情や行動の理由を説明する記述問題を解く際には、本文中の根拠に基づいて書く必要があります。間違えた設問については、「本文のどこを参考にして答えを出したのか」を確認するようにしましょう。客観的な根拠に基づいて解く意識付けになります。

また、主人公の心情が全体を通じて大きく変化する文章も読み進めます。傍線部付近にだけ意識が向きがちですが、「メガネくん」の形で大きな変化を説明できる力がこの先重要になってきます。「どんな話だったのか」を口頭で説明するときには、「変化前」→「きっかけ」→「変化後」の構造を意識するようにしましょう。

【4年G模試国語 訂正】

4年G模試国語 大問三の問五(2)

空欄の直後に不備がありました。この問題については全員正解としました。